

告知板

「第二回学生生活実態調査」への協力を

清水 凡生

今回、学生の実態調査が行われることになった。第一回の調査は平成元年に行われている。その後四年が経過していることになるが、厚生・学生両委員会のもとに学生生活実態調査専門委員会が構成され、今年十一月に実施すべく内容、方法等が検討されつつある。近年の社会情勢は急激に変化しており、これに伴って学生の生活実態も大きく変容しているとおもわれる。

統合移転が平成七年度に完了する。長年の思いがまとうされる訳であるが、東広島市における学生の生活は必ずしも満たされたものではない。住居、公共交通、食事、娯楽、など日常生活の環境はいうに及ばず、キャンパス内においても満足な学習環境が与えられているとはいえない。このような諸条件を改善するための基礎資料を得ることも、学生の生活・学習環境を整備するためには不可欠なことであろう。生活実態の基礎資料を得るにとどま

「報道された広大」と「大学をとりまく社会の動き」

「報道された広大」と「大学をとりまく社会の動き」は今回から連載します。前者は主要日刊紙などに広大から発信された記事情報を見出しを集録し、情報発信基地としての実情が分かるようにするのがねらい。後者は主要日刊紙などの大学関連情報を全国と地域に分けて見出しのみを集録し、大学の周

講演会のお知らせ

らず、形だけの表面的な生活調査を排し、現在の生活環境が学生の学習条件や心身に如何なる影響を及ぼしているか、それらの解決の方途は如何にあるべきかといった点を明らかにできるものを目指したいと考えている。また、調査に際し最も重視すべきことはプライバシーを厳重に守ることであり、個々に記入し、封筒に密封して提出してもらい、これを中央に回収した後開封するといった手順を考えている。調査は専門委員各位のご指導、ご支援無くしてはなし得ないことであるが、さらに学生諸君の回答記入、提出についてのご協力、教職員諸氏の調査実務に関する次第である。(学生生活実態調査専門委員会専門委員長)

講演題目 「Recent Feminist American Drama」

講師 Lavonne Mueller 教授

(アイオワ大学)

日時 十月二十三日(土)十五時

場所 国際会議場

連絡先 総合科学部 伊藤詔子

(内線六四三三)

囲で何が起きているかを読者に知らせるのがねらいである。情報過多の時代、集録もれがある可能性があり、お気づきの点は本誌編集部までお知らせ下さい。

☆報道された広大

広島大入試説明会、高校生ら三〇〇

- # 人参加(中国、8・31)
- # 広島大名誉教授・荘司さん、研究一筋半世紀、エッセイ集出版、視点鋭く軽快に、新聞寄稿まとめる(中国、9・5)
- # 広島大学大学院 国際協力研究科を設置(中国、9・7)
- # 長町広島大工学部教授に「優れた外国人研究者賞」、米国の人間工学会が選考(中国、9・11)
- # 数学の「天才」集まれ、広島大に高校生向け自主講座、十一月スタート(中国、9・13)
- # 遺伝や「自爆死」に光、来月 広島で放射線影響学会(中国、9・12)
- # 来年度の国概算要求、広大関連を報告(中国、9・15)
- # 理学療法専攻など編入志願者わずか、広大医学部保健学科(中国、9・15)
- # 西アフリカのコートジボワール、猛威振るうエイズ、広島の難波教授調査、貧困：遅れた予防策、病棟にハエ・悪臭：供血チェックも不十分(中国、9・18)
- # 求む 留学生指導講師、広大総合科学部 民間人含め公募(中国、9・23、日経、9・25)
- # 「リニア心臓」に成功、羊で実験小型・埋め込み式、広島大と信州大(中国、日経、9・25)
- # マレーシアの学術調査団、広島大教官らと意見交換、留学生 事前教育は？(中国、9・29)
- # 連載 町工場 街⑤ 私の提言 広島大総科教授・村上 誠さん(中国、9・29)
- # 広大医学部保健学科編入試験七十六人が挑戦(中国、9・30)
- # サイエンス・アイ 規制緩和、研究助成にも、人員確保に活用を、研究活性化などに効果大(日経、9・4)
- # 国立大・短大来年度定員、三十六年ぶり低い伸び、十万八三五九人、臨時枠も五大学削減、朝日、毎日、読売、日経、中国、9・7)
- # 研究室拡充など国立大学を整備、来年度から(日経、9・8)
- # 大学予算 改革度を重視、カリキュラムや教官相互評価制 実績に応じ配分、文部省方針(読売、9・9)
- # 国立大設備ハイテク化、重点整備に転換、文部省(読売、9・13)
- # ミニ時典 大学予算の傾斜配分方式(読売、9・17)
- # 月曜日ポルト 就職難、女子大生「疲れ果てた」、男女格差、求人票まばら、労働省 来月、企業調査も(日経、9・13)
- # 推薦定員は三割以内、大学審報告、幽止め「三原則」示す(読売、日経、中国、9・17)
- # 解説 大学審 初の指針、なるか推薦入学正常化、強制力なく世論動向決めて(読売、9・17)
- # 大学院に夜間の博士課程新設を、大学審答申(日経、読売、中国、9・17)
- # 「研究環境、相当悪い」、平岩経団連会長が東大視察(日経、9・17)
- # 国立大授業料、文系より理系高く、二年後導入、大蔵省方針、私大との格差是正(中国夕刊、9・18)
- # 九二年度私学補助率 十二年連続ダウン、学生一人当たり七〇〇円減の十四万八〇〇〇円(日経、中国、読売、9・23)
- # 大検合格者五〇〇〇人超す、文部省まとめ(日経、9・23)
- # 数学・物理得意な高校生、大学教育の道開け、文部省協力者会議(日経、9・23)
- # 差別をなくすために一部落解放大学20年①「教育」奪われた傷み実感、進学断念した若き日に重ね、啓発活動は自分のため(読売、9・23)、同②(読売、9・25)、同③(読売、9・29)
- # 帰国子女ラッシュ、リストラ余波で「狭き門」、受け皿足りぬ、学校側悲鳴、情報不足に親も不満の声(日経、9・25)
- # 外国人留学生、理想に遠い受け入れ態勢、不足する公的宿舎、来日前の情報提供不十分(日経、9・25)
- # 香川医大が推薦入試要項、六年度枠は20人(読売、9・25)
- (地域)
- # 東広島市の「ブルバール」西条昭和と御園字間、足元灯十三基相次ぎ破壊、悪質ないたすら 施設台無し、市都市整備公社 対策に頭痛める(中国東広島版 9・8)
- # 東広島 情報発信基地づくり探る、「未来都市構想研究会」がスタート、拠点地区選定や開発手法提言へ(中国東広島版 9・11)
- # 原爆調査中、枕崎台風で殉難 京大 研究班悼み記録集、OB医師ら(中国、9・12)
- # 原爆調査中に台風遭難、京都大の十一人を慰霊、大野(中国、9・16)
- # 東広島運動公園、ア大会・国体へ整備、計画見直し二四・九ヘクタールに拡張(中国東広島版、9・16)
- # 安楽死処理の犬・猫慰霊式、広島市動物管理センター(読売、9・25)
- # 原爆ドームを遺産リストに、署名百万人突破、「すすめる会」来月、国会などに推薦請願(読売、9・29)